

埼玉県立加須げんきプラザ

「単元の学習過程を明示した簡易版」

○活動プログラム「人間関係づくりプログラム・野外炊事体験」

○中学部2学年 生活単元学習 「 体験的活動を通して、仲間の大切さを知ろう 」

○単元の目標

体験活動を通じて、生徒が互いに協働しながら「仲間の大切さ」を知ろうとするとともに、これまで各教科等で学んできた知識や技能、見方・考え方を総合的に働かせて、一人一人の生徒が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、様々な役割を担い、集団全体で取り組むことができる。

○学習過程と活動の流れ

学習過程	活動内容	時数	活動の場
【事前学習】 ・学習活動の把握 ・知識・技能の習得	・宿泊学習の概要やきまりを知る。【社会科】 ・宿泊学習の「しおりづくり」を行う。【国語科】 ・加須市についての「調べ学習」を行う。【社会科】 ・宿泊に向けての「入浴学習」を行う。【保健体育科】 ・野外炊事に向けての「調理実習」を行う。【家庭科】【社会科】	6	学校
【体験学習(当日)】 ・学習したことの実践	・加須未来館で「プラネタリウム鑑賞」を行う。【社会科】 ・「人間関係づくりプログラム」を体験する。【自立活動】 ・「野外炊事」を体験する。【家庭科】【社会科】 ・「うどんづくり」を体験する。【家庭科】【社会科】	1 2	施設
【事後学習】 ・実践の振り返り ・知識・技能の深化	・体験学習の様子を写真等で振り返り、活動を通して学んだことを確認する。【国語】 ・体験学習を通して学んだことを生かして、「調理実習」を行う。【家庭科】	4	学校

○育成する資質・能力

【知識及び技能】

- ・よりよい人間関係を形成するために他者と協働して取り組むことの意義を理解できる。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・集団内で協議して合意形成を図り、よりよい方向性を見出して課題解決を図ることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・他者の考えや意見を肯定的に捉え、尊重することで、よりよい人間関係を形成できる。